

地域のめざす姿：リニアの時代へ 世界とつながり  
豊かな暮らしが営まれる伊那谷（INA Valley）

○地域重点政策・取組内容（H30～R4の主な事業 ※市町村、民間が実施した事業を含む）

1 “伊那谷らしく”豊かで活力に満ちた暮らしづくり

- ・安全・安心で健康に暮らせる環境の整備
- ・快適に楽しく暮らせる地域社会の実現
- ・地域の強みを活かした産業の育成・強化
- ・地域資源を活かした循環社会の構築
- ・地域防災マップの作成
- ・地域の子育て支援体制のあり方検討
- ・スマート農業、スマート林業の推進
- ・木質バイオマスの生産・普及拡大
- ・企業誘致
- ・水力発電所の建設、改修（西天竜発電所等）

2 伊那谷の未来を担う人づくり

- ・地域を支え社会に貢献できる人材の育成
- ・地域産業の未来を拓く人材の育成・確保
- ・郷土愛プロジェクトによるキャリア教育
- ・南信州地域と合同でのキャリア教育研修会
- ・学生のUターン就職のための情報提供、相談
- ・SNSによる就職情報の発信、保護者向けのPR
- ・仕事とくらしに係る情報発信（広報かみいな）
- ・新規就農希望者の相談対応、就農サポート

3 二つのアルプスを活かした交流圏域づくり

- ・伊那谷（INA Valley）の発信
- ・二つのアルプスのレベルアップと活用の拡大
- ・伊那谷らしさを活かした広域観光の創出
- ・風景と調和する「三風モデル看板」の設置
- ・中央アルプスの環境スタディツアー
- ・上伊那、南信州、木曽の広域観光ルートの検討
- ・長野伊那谷観光局の設立等、観光情報の発信

4 リニア開業を見据えた 伊那谷（INA Valley）づくり

- ・リニアの整備効果を最大限に活かす地域づくり
- ・リニアとのアクセス確保と流動の拡大
- ・移住・定住の促進
- ・国道153号バイパスの整備
- ・JR飯田線の利用促進
- ・広域観光バスの実証運行

○達成目標（主な指標）

指標名	基準値	最新値	目標値
農産物産出額	211億円 (2015年)	→ 225億円 (2019年)	229億円 (2021年)
林業生産額	13億円 (2015年)	→ 14億円 (2019年)	15億円 (2021年)
製造業の従業員 1人当たりの付加価値額	1,185万円/人 (2015年)	→ 1,093万円/人 (2019年)	1,340万円/人 (2020年)
木質バイオマス生産量 (ペレット)	2,655t (2016年度)	→ 3,909t (2020年度)	4,000t (2022年度)
23歳人口の割合 (対18歳時)	62.7% (2017年)	→ 48.9% (2020年)	75% (2022年)
観光地延利用者数	476万人 (2016年)	→ 245万人 (2020年)	500万人 (2022年)
移住者数	227人 (2016年度)	→ 351人 (2020年度)	350人 (2022年度)